

<第2回多文化理解講座報告> “覚えてみよう、いろいろな国歌“

5月21日(土)に一般社団法人国歌の輪、代表理事の浅見良太さんが講師として登壇しました。「国歌を知って世界を知ろう、国歌を通じた国際交流をしよう」をテーマに、明日誰かに話したくなる国歌のあれこれを、多角的な視点からご紹介いただきました。

国歌の歴史や曲調の紹介といったことから講座ははじまり、「君が代」が世界一古い歌詞であること、異なる国で同じメロディを共有するものがあること、多言語歌詞の国歌があることなど、面白い特徴のある国歌を、音源を流しながらご説明いただきました。



国歌は堅苦しいものではなく、国によっては柔軟に変更しているという、思ってもみない豆知識もありました。

たとえば、ジェンダーフリーの潮流にのって、歌詞の中の主語を性別が関係ないものに変えたり、マイノリティを尊重するものに変えたりといったものが挙げられました。

新型コロナウイルスの影響はなんと国歌にも及んでいました。サッカーの試合が無観客になり、国民が国歌斉唱をすることができなくなったため、デンマークチームは国歌の音波がプリントされたユニフォームを着て試合をしたそうです。休憩時には、実際のユニフォームや国歌に関する本を自由にご覧いただきました。質疑応答も時間いっぱいまで盛り上がり、再度国歌を取り上げた講座を望むお声もいただき、大好評のうちに終了いたしました。



ご来場のみなさま、ありがとうございました。